入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成21年9月18日

独立行政法人電子航法研究所

理事長　平澤　愛祥

◎調達機関番号　551　◎所在地番号　13

1　調達内容

(1)　品目分類番号　71,27

(2)　購入等件名及び数量

洋上管制シミュレータの改修　一式

(3)　調達案件の仕様等　入札説明書及び仕様書による。

(4)　納入期限　平成22年3月18日

(5)　納入場所　電子航法研究所

(6)　入札方法　上記の件名の他納入に要する諸費用を含めた額で行う。

入札書に記載された金額に当該金額の5%に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札

価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2　競争参加資格

（1）　独立行政法人電子航法研究所契約事務取扱細則第3条の規定に該当しない者であること。

（2）　平成21年度国土交通省競争参加資格(全省庁統一資格)「役務の提供等」の「A」又は「B」の等級に格付けされている者であること。

（3）　官庁(国土交通省航空局)から指名停止を受けている期間中に該当しない者

3　入札者に求められる義務等

入札に参加を希望する者は、入札説明書に明記されている申請書を平成21年10月26日17時00分までに下記4に示す場所に提出しなければならない。提出された申請書の審査の結果、当該案件を履行できると認められた者に限り入札の対象者とする。なお、提出した申請書について

説明を求められたときは、これに応じなければならない。

4　入札書の提出場所等

（1）　入札書の提出場所、契約条項を示す場所、入札説明書の交付場所及び問い合わせ先

〒182－0012 東京都調布市深大寺東町7－42－23　電子航法研究所総務課契約係

吉富　康之　電話　0422－41－3476

（2）　入札説明書の交付方法　平成21年10月26日まで、電子航法研究所ウェブサイト上にて交付する。http://www.enri.go.jp/news/nyusatu/nyusatu_choutatsu.htm

（3）　入札書の受領期限　平成21年11月9日17時00分

（4）　開札の日時及び場所　平成21年11月10日14時30分　電子航法研究所本館2階

5　その他

（1）　契約手続において使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨。

（2）　入札保証金及び契約保証金　免除。

(3)　入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(4)　契約書作成の要否　要。

(5)　落札者の決定方法　予定価格制限の範囲内で入札説明書の要求要件をすべて満たした入札者の中から、最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者と決定する。

(6)　詳細は入札説明書による。

(7)　手続きにおける交渉の有無　無。

6　Summary

(1)　Official in charge of disbursement of the procuring entity: HIRASAWA Chikayoshi President of Electronic Navigation Research Institute

(2)　Classification of the services to be procured: 71, 27

(3)　Nature and quantity of the products to be required : Remodeling of Oceanic ATC simulator, 1 set

(4) Delivery period: by 18 March, 2010

(5) Delivery place : Electronic Navigation Research Institute

(6) Qualification for participating in the tendering procedures: Suppliers eligible for participating in the proposed tender are those who shall

① not come under Article 3 of the Regulation concerning the contract for Electronic Navigation Research Institute Furthermore, minors, Person under Conservatorship or Person under Assistance that obtained the consent necessary for concluding a contract may be applicable under cases of special reasons within the said clause

② Have Grade A or B in "Offer of services" in terms of the qualification for participating in tenders by Ministry of Land, Infrastructure and

Transport (Single qualification for every ministry and agency)in the fiscal years 2007・2008・2009.

③have proven to have actually manufactured the products concerned or the products with performance similar to that of the products concerned.

④Not come under nomination suspension by Japanese government office(Civil Aviation Bureau).

(7) Time-limit for tender: 17:00 9 November, 2009.

(8) Contact point for the notice: YOSHITOMI Yasuyuki, Contract section, General Affairs Division, Electronic Navigation Research Institute,7－42－23,Jindaiji-higashimachi Chofu-shi, Tokyo 182－0012 Japan. TEL 0422－41－3476

仕様書

1. 件名

洋上管制シミュレータの改修　　　1式

2. 概要

本仕様書は「洋上経路システムの高度化の研究」における洋上管制シミュレータの改修について記述する。

洋上空域の管制間隔の短縮に伴ってより効率的な洋上経路システムの構築が課題となっている。電子航法研究所では、管制間隔を短縮したときの飛行時間や消費燃料を計算し、上層風の状況や航空機の性能を勘案したときの最適経路等の効果を検証するために、昨年度洋上管制シミュレータを作成した。

本年度は、気象庁が気象データのメッシュを高精度化したのに伴い、高精度気象での最適経路計算に対応できるようにする。また航空機間の属性に応じた管制間隔によるコンフリクト検出やその洋上評価卓へ航空機表示を行う。さらに洋上評価卓での操縦コマンド機能を追加する。

3. 洋上管制シミュレータ

洋上管制シミュレータは「TRACKサブシステム」、「DETECTサブシステム」、「FSIMサーバ」、「洋上評価卓」の４つの部分から成り立つ。

TRACKサブシステムは、気象条件や管制間隔条件に基づき、シティペア間の最適経路を算出する。さらに航空機ごとの出発空港と目的空港間の最適経路を算出するサブシステムである。なお、最適経路の算出には、時間最小、燃料最小とそれらを組み合わせた選択ができる。

DETECTサブシステムは、航空機間の管制間隔が欠如する状態（コンフリクト）を飛行計画に基づき予測検出する機能およびその問題を解決する機能を有する。また運航者との出発前調整を模擬し、コンフリクトを解決する機能を有する。

FSIMサーバは、飛行シミュレーションの実施、操縦ができ、航跡データをフライトプロファイルとして作成する。FSIMサーバに対し最大４台の洋上評価卓の接続が可能である。

洋上評価卓はFSIMサーバがもつ飛行シミュレーション情報を取得しシミュレーションを表示できる。シミュレーション時刻の進行を行い、時刻をキーにFSIMサーバに航空機情報の取得を要求する。そして取得した航空機情報を基にマップ上に航空機を表示する。時刻の進行に伴い表示更新を行い、航空機の動画表示をする。

洋上管制シミュレータの昨年作成した仕様書を参考仕様書Aとして添付する。

4. 仕様

「洋上管制シミュレータ」に4.1、4.2、4.3、4.4、4.5で示す機能を拡張して実現するためのプログラムを設計、製作すること。

4.1. TRACKサブシステム

4.1.1. フライトプロファイル再作成

- FSIMサーバが作成したスケジュールからフライトプロファイルを作成すること。
- FSIMサーバが作成したフライトプロファイルから、消費燃料、CO2排出量等の評価データを算出したフライトプロファイルを再作成すること。

4.1.2. 横間隔属性の追加

・スケジュールおよびフライトプロファイルに横間隔属性（NM）を追加すること。

4.2. DETECTサブシステム

4.2.1. 高精度気象データ

- 高精度気象データの入力、計算、表示を可能にすること。
- 使用データ、表示および操作は平成20年度のTRACKサブシステムと同じとすること。
- マップのレンジによる風速、矢印の長さを調節すること。

4.2.2. 航空機の属性表示

- 航空機に横間隔属性を持たせ、横間隔属性に依存したボックス表示を行うこと。
- フライトプロファイルに横間隔属性を追加すること。

4.2.3. CO2、燃料価格の計算と表示

・経路、フライトプロファイル検索表示にCO2、燃料価格を計算し表示すること。

- データ設定、表示および操作は平成20年度のTRACKサブシステムと同じとすること。

4.3. DETECTサブシステム（コンフリクト検出）

4.3.1. 属性に応じたコンフリクト検出

- 航空機（フライトプロファイルデータ）に横間隔属性をもたせ、横間隔属性およびコンフリクト検出エリアの設定に依存したコンフリクトの検出を行うこと。なお、2機の間隔が異なる時は広い方の間隔を適用すること。

4.3.2. コンフリクト検出範囲のログ表示、出力

- 全航空機のコンフリクト検出範囲を表示し、シミュレーションログファイ

ルに出力すること。

4.3.3. コンフリクト検出対象外機のログ表示、出力

- コンフリクト検出エリアの設定上、コンフリクトの対象とならない航空機をワーニングとして表示し、シミュレーションログファイルに出力すること。

4.4. FSIMサーバ

4.4.1. 航空機属性

- スケジュールおよびフライトプロファイルに横間隔属性を追加する。
- 航空機毎に横間隔属性をもつこと。

4.4.2. コンフリクト検出

- 環境データ、空域、航空機飛行情報（操縦により再計算）を設定することによって随時コンフリクトを検出すること。なおボックス検出、高度変更検出、時間差検出の方法による。その結果を洋上評価卓へボックス表示用に、出力すること。なお、検出ルーチンはコンパイルせずスクリプト化して記述すること。

4.4.3. 出発時刻の変更指示

・洋上評価卓の指示コマンドが通知されること。

・指定機の飛行および操縦履歴をキャンセルし、元シナリオの出発時刻を変えてベクトル計算をやり直すこと。

4.4.4. マックナンバーの入力

・飛行シミュレーションにマックナンバーによる速度操縦コマンドを追加すること。

・飛行シミュレーションだけでなくフライトプロファイル出力にも反映させること。

4.5. 洋上評価卓

4.5.1. 航空機ボックス表示

- 洋上評価卓の航空機表示にDetectサブシステムと同様のボックス表示（縦間隔と横間隔を多角形で表す）を可能にすること。
- コンフリクト情報は、FSIMサーバが4.4.2で検出した結果を表示すること。
- FSIMサーバから横間隔属性を取得し、横間隔属性に依存したボックス表示を行うこと。

4.5.2. コンフリクト結果の表示

・ 洋上評価卓のコンフリクト一覧表示を可能にする。コンフリクト情報は、FSIMサーバが4.4.2で検出した結果を表示すること。

4.5.3. 出発時刻の変更指示コマンド

- 出発時刻の変更指示コマンドの入力を可能とし、FSIMに対し変更指示を通知すること。

4.5.4. ２機間の状態照会コマンド

- 指定した２機の現在高度と現在速度（TAS＆IAS＆マックナンバー）および２機間の距離（NM），速度差，高度差を照会するコマンドを新設すること。

5. 実行環境および開発言語

本ソフトウェアはWindows XPで動作すること。プログラムはJavaで作成すること。4.4.2節においては、スクリプト化して記述すること。

洋上管制シミュレータのハードウェアにインストールすること。ハードウェアの仕様は以下の通りである。将来、複数台接続する可能性も考慮すること。

＜NEC Express5800/53Xe＞

主な仕様

CPU　　　：インテルCore2 Duo プロセッサ 3.16GHz
メモリ　　：デュアルチャネルDDR2-800 SDRAM 2GB
内蔵ﾃﾞｨｽｸ：250GB（SATA Ⅱ·300,7200rpm）×2
OS　　　　：WindowsXP

＜FlexScan SX2761W 27型＞

主な仕様

解像度　　：1920×1200ピクセル
（ソフトウェアは2台接続を考慮し、最大3840×1200の表示を可能とすること。1台接続の場合、最小1024×768の表示を可能とすること）

6. 一般適用事項

6.1. 工程管理

本仕様書に規定される作業の実施にあたり、工程管理を行うこと。請負者は、作業実施にあたり工程表を速やかに作成し、監督職員に提出し承認を得ること。（提出部数および提出期限は第７章、表１納入物による）

6.2. 連絡会

作業実施に当たり、進捗状況報告および問題点の検討を行うため、監督職員との連絡会を計画し、適宜開催すること。

6.3. 設計承認

設計完了後、速やかに基本設計書を提出し、監督職員の承認を得た後、製造にかかるこ

と。（提出部数および提出期限は第７章、表１納入物による）

7. 納入物

請負者は、契約の履行に当たり、表1に掲げる納入物を当所に納入すること。

表１　納入物

番号	品目	部数（書類）	部数（電子媒体）	提出期限
1	工程表	2	－	契約後14日以内
2	基本設計書	2	2	契約後2ヶ月以内
3	検査実施要領書	2	－	検査実施10日間前
4	検査成績書	2	2	納入時
5	取扱説明書	2	2	納入時
6	ソースプログラム	－	2	納入時
7	ソフトウェア	－	2	納入時

8. 監督および検査

8.1. 監督

監督職員が必要と認める事項について適宜監督を行う。

8.2. 検査

請負者は、本契約の履行に当たり検査職員の検査を受けること。当所の検査職員は、契約書、仕様書、基本設計書等に基づいて、請負者が契約を履行したことを確認するための検査を実施する。

検査は、検査実施要領書に基づいて行うものとする。

8.3. 立会検査

本仕様書で規定する機能を有していることを立証するために行う検査である。検査の実施に当っては、検査実施要領書を作成し、検査職員の承認を受けること。尚、検査実施要領書には、以下の内容を含むこと。

(a)　検査項目

(b)　検査方法

(c)　検査結果の判定基準

8.4. 検査成績書

検査終了後は、検査成績書を検査職員へ提出すること。

9. 保証

納入後1年間は、洋上管制シミュレータにおいて当所の過失によらない内容の不備については、無償で修正すること。

10. 疑義等

本仕様書について疑義が生じた時は、監督職員の指示によること。

11. 著作権等

（１）洋上管制シミュレータは、昨年度日本電気株式会社が製作し、ソフトウェア、基本設計書の著作権は当所に帰属している。昨年度製作されている洋上管制シミュレータに対して必要な閲覧、改変、複製を行い、不具合が生じた場合は、昨年度製作分も含めて本件請負業者はこれを正すための処置を行わなければならない。

（２）本契約に際し、新規に開発されたソフトウェア等の納入物の著作権は、納入完了時に当所に帰属することとする。

12. 納入

請負者は、本契約の履行に当たり第７章、表１納入物に掲げる品目および数量を納期までに納入すること。

13. 納期

平成22年3月18日

14. 納入場所

電子航法研究所　（調布市深大寺東町7-42-23）　航空交通管理領域

入札資格条件

１．航空管制および航空管制用シミュレータ、洋上管制データ表示システム ODP(Oceanic Air Traffic Control Data Processing System)、飛行情報管理システム FDMS（Flight Data Management　System）に関する基礎知識を持つこと。

２．洋上管制シミュレータの改修にあたり、当該シミュレータの機能を熟知していること。

入　札　説　明　書

（添付書式）
「入札書受取確認票」

１．契約者

　独立行政法人電子航法研究所　理事長

２．入札内容等

（１）入札事項(入札件名及び数量)

　「洋上管制シミュレータの改修　１式」

　　[詳細は仕様書参照]

（２）仕様

　仕様書のとおり

（３）履行期限

　平成 22 年 3 月 18 日

（４）納入場所

　独立行政法人電子航法研究所　（東京都調布市深大寺東町 7-42-23）

（５）入札方法

① 入札参加者は、納入に要する一切の諸経費を含め、入札金額を見積り下さい。

② 落札者決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 5%に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって落札価格としますので、競争参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の 105 分の 100 に相当する金額を記載した入札書を提出下さい。

（６）入札保証金及び契約保証金　免除

３．入札に参加する者に必要な資格

（１）　平成 21 年度国の一般競争参加資格（全省庁統一資格）のうち、開札日までに下記の等級に格付け登録されている者。

　「役務の提供等」　「A」「B」

　なお、入札者は、開札までに上記資格書の写(コピー)を当研究所総務課契約係あて提出下さい。

　【資格書写(コピー)の提出方法】

　　１．入札書・入札内訳書の提出時に同時に提出。

　　２．FAX(FAX 番号 0422-41-3169)。必ず、宛先は、契約係。

　　３．電子メール(tender@enri.go.jp)。必ず、PDF 形式で送信。

（２）　官公庁(国土交通省航空局)から指名停止を受けている期間中に該当しない者であること。

（３）　次の各号の一に該当する者は、入札に参加する資格を有さないものとします。

①　契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者。但し、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者を除く。

②　次の各号の一に該当し、かつ、その事実があった後２年を経過しない者。

ア　契約の履行に当たり、故意に製造を粗雑にし、または物品の品質もしくは数量に関して不正の行為をした者。

イ　公正な競争の執行を妨げた者、または公正な価格を害しもしくは不正の利益を得るため連合した者。

ウ　落札者が契約を結ぶこと、または契約の相手方が契約を履行することを妨げた者。

エ　監督または検査の実施に当たり、職員の職務の執行を妨げた者。

オ　正当な理由無くして契約を履行しなかった者。

カ　契約の履行に当たり、前各号のいずれかに該当する事実があった後２年を経過しない者を、代理人、支配人その他の使用人として使用した者。

４．入札説明会開催の有無　　無

５．入札説明書及び仕様書に関する質問の受付

電子メールにて受付（電子メールには、件名・事業者名・担当部署名・担当者名・電話番号・FAX 番号を必ず記入して送信下さい）

電子メール宛先　tender@enri.go.jp

なお、頂いた質問のうち（当研究所からの回答含む）応札を考えている他の事業者の方にも周知した方が公平性の点から良いと当研究所が判断したものについては、当研究所ホームページ入札・調達情報欄の当該入札件名横「質疑応答」をクリックして頂くと当該入札案件に係る公表質疑応答を閲覧することができますので、応札される事業者の方は、必ず応札しようとする入札案件の質疑応答欄をご確認下さい。

締切は、入札公告記載の期日までとなっています。

６．入札者に求められる義務等

（１）　入札に参加を希望する者は、平成 21 年 10 月 26 日（月）17 時 00 分までに、別紙記載の入札資格条件項目について全て記載し、履行可能であることを記した入札参加希望申請書を提出願います。様式は自由とし、送付方法は、持参または郵送とします。

（２）申請書の提出先

〒182－0012　東京都調布市深大寺東町７－42－23

独立行政法人電子航法研究所　総務課　契約係

TEL.　0422－41－3476

7．入札書･入札内訳書提出の方法等

（1）　入札書･入札内訳書提出方法

持参または郵送（電信、電子入札不可。郵送の場合は、書留、配達記録等配達された記録が残る方法による）

（2）入札書･入札内訳書の提出先

〒182－0012　東京都調布市深大寺東町 7－42－23

独立行政法人電子航法研究所　総務課　契約係

TEL.　0422－41－3476

（3）開札の場所

独立行政法人電子航法研究所　本館２階総務課前応接間（車駐車可）

調布市深大寺東町 7－42－23

（4）締切の厳守

入札書等の提出にあたっては、入札公告記載の期日を厳守願います。締切以降の入札は無効となりますので、ご了承下さい。

（5）入札書･入札内訳書の提出方法

【郵送の場合】入札書･入札内訳書に、添付の「入札書受取通知票」（FAX 宛先（受け取り担当者名まで記載）及び FAX 番号を記入）を同封して、当研究所契約係あて郵送下さい。入札書の日付は、郵便投函日の日付を記入下さい。郵送頂いた入札書･入札内訳書は、当研究所に到着した時点で開封して、誤記、記入漏れまたは押印忘れ等がないか確認します。

また、入札書を郵送したにもかかわらず、当研究所から「入札書受取通知票」が FAX 送付されてこない場合は、必ず、当研究所契約係あてに問い合わせ下さい。

【持参の場合】入札書・入札内訳書を封筒に入れて（のり付け不要）ご持参下さい。提出頂いた入札書・入札内訳書は、即日、開封して誤記、記入漏れまたは押印忘れ等がないか確認します。なお、入札書の記名・押印者以外の者の持参を認めます。

①　入札書の署名(または記名)・押印者は、入札参加事業者における代表取締役等の代表機関または支配人、支店長以上の職にあるもの、もしくは、上記のものから委任を受けた代理人(委任事実及び委任内容が書面上証明できる場合のみ)とします。

②　入札参加者は、誤記、記入漏れまたは押印忘れ等、当研究所からの指摘による入札書・入札内訳書の返却時以外、提出した入札書･入札内訳書の引換え、変更

または取消しをすることはできません。

（６）入札の無効

①　上記３．に示した競争参加資格の無い者、入札条件に違反した者及び競争参加者に求められる義務を履行しなかった者、または次の各号の一に該当する入札書は無効とします。

ア　入札参加者またはその代理人（以下「入札者」という。）の記名または押印（外国人、または外国法人にあっては、本人または代表者の署名をもってかえることができる。）の無いもの。

イ　金額の記載の無いもの、または金額を訂正したもの。

ウ　誤字脱字等により、記載事項が不明瞭であるもの。

エ　条件が付されているもの。

オ　その他入札に関する条件に違反したもの。

②　入札者が国の一般競争参加資格（全省庁統一資格）を有すると認められなかったときは、当該入札書は無効とする。

（７）入札の延期等

入札者が連合し、または不穏な行動をなす等の場合であって、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札を延期し、または取りやめることがある。

（８）代理人による入札

①　代理人が入札書に金額、日付を記入して記名、押印する場合は、入札書に入札者の氏名、名称または商号、代理人であることの表示、代理人氏名の記入及び代理人印を押印（外国人の署名を含む。）しておくとともに、入札書提出締切日時までに委任状を提出すること。

②　入札者は、本件入札について、他の入札者の代理人を兼ねることはできない。

（９）開札の方法

①　開札は、立ち会いを希望する入札者を立ち会わせて、当研究所の職員が行う。

②　入札者は、開札の場所に入場しようとするときは、当研究所総務課職員に、入札者または入札者が代表、支店長等である事業者の職員または代理人であることを証するものを提示すること。なお、同一事業者の３名以上の入場は、認めない。

③　入札者は、開札時間経過後は、当研究所総務課職員の許可がない限り、開札の場所に入場することはできない。

④　入札者は、当研究所総務課職員の許可がない限り、開札が終了するまで開札の場所を退場することができない。

⑤　開札を行い、予定価格範囲内の有効な入札が無いときは、再度の入札を行う。

なお、この場合、封筒及び封印は不要とするとともに本件においては、再度の入札のみファクシミリによる入札を認める。

再度入札の締切は平成21年11月11日15:00を予定している。

8．その他

（１）契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

（２）入札者に要求される事項

① 入札者は、入札公告及びこの入札説明書を十分理解したうえで入札しなければならない。質問等があるときは、上記５．に記載する方法で当研究所に説明を求めることができる。ただし、入札後はこれらの不明を理由として異議を申し立てることはできない。

② 入札者は、開札日の前日までに当研究所から当該入札書に関し説明を求められた場合、それに応じること。

（３）落札者の決定方法

① 最低価格落札方式とする。

② 同一価格の落札者が２者以上ある時は、同一価格の落札者による再度入札により落札者を決定する。この場合、再度入札の価格は、最初の入札金額以下（最初の入札金額と同額含む）のものを有効とする。

③ 本入札における落札者は、当研究所との本件に係る第１位の契約交渉権を得るものである。

④ 落札価格によっては、落札後に落札者と当研究所が価格交渉を行うことがある。

（４）契約書の作成

① 契約書の記名押印は、先に当研究所が行い、その後、請負者が記名押印し、各自１通を保管する。

② 契約書（２部）を当研究所から受領したら、記名、押印及び収入印紙を貼付（収入印紙貼付不要契約の場合は除く）して7日以内に当研究所総務課契約係あてに到着するように返送すること。

③ 落札者及び当研究所が契約書に記名押印しなければ、本契約は成立しない。

（５）代金支払条件

① 当研究所からの給付完了確認後、契約者から適正な請求書を受理した日から30日以内に銀行振込により代金を支払う。

② 契約者は、請求書に必ず振込先金融機関名、預貯金種別、口座番号及び口座名、請求日付を記載すること。

（６）納品または履行の検査等

① 納品または履行の検査方法等については、契約書及び仕様書に定めるところによる。

② 検査終了後、契約者が提出した書類に虚偽の記載があると判明した場合は、契約者に対して損害賠償を求める場合がある。

※入札書を郵便で提出する場合、必ず、入札書・入札内訳書に同封して本紙を提出
※持参の場合は、必要ありません

平成　　年　　月　　日
送信枚数：本紙のみ

入札書受取通知票

[宛先]
入札書提出事業者：
担当部署：
担当者：
FAX 番号：
（上記宛先項目何れも入札者が必ず記入）

入札事項「洋上管制シミュレータの改修　１式」入札書確かに受取ました。

[受取人]
独立行政法人電子航法研究所
総務課契約係
担当：
電話番号０４２２－４１－３４７６
FAX 番号０４２２－４１－３１６９

入　　札　　書

￥

（消費税および地方消費税相当額を除く）

入札件名及び数量　　洋上管制シミュレータの改修　１式

本件入札説明書・契約書（案）を承諾のうえ入札します（入札内訳書添付)。

平成　　年　　月　　日

住　　　所

事 業 者 名

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

独立行政法人電子航法研究所　理事長　様